

## 問題点

昔ながらの手作業事務と会計事務所まかせの経理。事務生産性が低いのはあたりまえ、損益は決算書で見るだけ。これまでは、こんな時代遅れの方法でもなんとか生き延びてきたが、令和の時代では無理のような気がする。



## 解決策1(手が届かない)

巷ではクラウドサービスという良いサービスが存在するらしい。これをうまく利用すればいける気がする。しかし、どんなものがあるのかわからないし、選定できる人材もいない。コストも小規模企業にとってどうだろうか。実際、なかなか手が届かない。

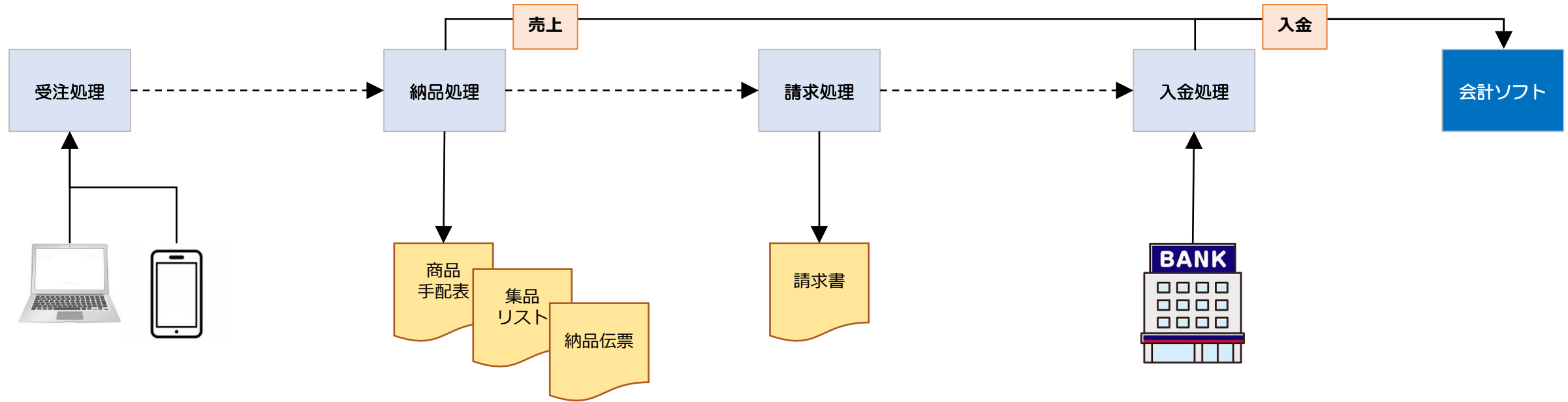


## 解決策2(ちょうどいい)

受注、商品手配、集品、納品書、請求書、入金消込、など必要十分な仕組みは揃っており、シンプルでわかりやすい。ローコード開発ツールで作成されているから、自分たちでも機能追加が検討できる。機能もコストもちょうどいい。



# ちょうどいいDXシリーズ「受注から入金までアプリ」機能一覧



受注処理機能
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>メール経由で受注</b></li><li>・ クラウド経由で受注（スマホ発注可能）</li><li>・ 受注一覧表</li><li>・ 受注計上の自動化（<b>RPA処理</b>）</li><li>・ 日次発注、週間発注、月間発注に対応</li></ul>

納品処理機能
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>商品手配表</b></li><li>・ <b>集品リスト</b></li><li>・ 納品伝票</li><li>・ <b>販売単価の商品別一括変更</b></li><li>・ <b>産地一括登録（生鮮品用）</b></li><li>・ <b>売掛/売上の会計連動</b></li></ul>

請求処理機能
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 月締め請求書</li><li>・ 納品書別請求書</li><li>・ <b>残高管理と個別管理の両方に対応</b></li><li>・ <b>顧客別入金口座に対応</b></li></ul>

入金処理機能
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>口座入金データとの連動</b></li><li>・ <b>顧客別入金口座による入金処理</b></li><li>・ 一部入金対応（残高管理先のみ）</li><li>・ <b>入金/売掛の会計連動</b></li></ul>